

「大阪万博で法人需要高まる警備会社から問い合わせ100戸手配を予定会場から60分以内」

100戸手配を予定会場から60分以内

大阪万博の開催まで8カ月となり、関連の事業者などの賃貸住宅需要が高まっているようだ。大阪万博は、「日本の成長を持続させる起爆剤」とすることを目的に

開催される国際博覧会。開催期間は2025年4月13日～10月13日の6カ月間。大阪市此花区に造られた人口島・夢洲（ゆめしま）が会場となる。全国で10万戸超を管理するビレッジハウス・マネジメント（東京都港区）は、大阪万博会場で駐車

場の見回りを担当する大手警備会社1社から依頼を受け、警備スタッフが入居する70～100戸の部屋を手配する予定だ。ビレッジハウス・マネジメントは旧雇用促進住宅を改修し、低家賃で提供している。管理物件の平均築年数は48年ほど。警備会社からは23年12月に部屋探しの依頼を受けた。24年3月末～7月にかけて段階的に依頼件数が増えており、8月末時点で60戸が成約。入居は最大で200人になる予定だ。

賃貸借契約は2年間で契約しているが、実際の入居開始時期は24年秋ごろから25年12月末を見込む。今回、警備会社の社員は車通勤を前提としており、要望した住戸の条件は大きく2点だった。一つは、勤務先となる夢洲エリアまで車で60分以内で着くこと。二つ目は、入居人数分の駐車場を備えていることだ。

実際に契約したのは主に大阪府堺市の物件だ。そのほか、同条件の大阪府松原市や枚方市、奈良県橿原市、兵庫県神戸市の人口島・ポートアイランド内の物件への申し込みもある。専有部は50㎡台の3DKで、家賃帯は駐車場代込みで6万円ほど。1戸に2～3人が入居する契約で1人あたりの賃料は2万円前後だ。「大阪万博が終わった後も、大阪府は統合型リ



◀ビレッジハウス・マネジメントが提供する物件。複数の部屋がある